

# ボランティアだより

編集・発行

大阪狭山市ボランティアセンター  
大阪狭山市今熊1丁目85番地  
TEL 072-367-6601  
FAX 072-366-7407



夏

## のボランティアジュニアスクール 参加者募集

小学生対象!

みんなと一緒に楽しみながら、ボランティアや福祉について学ぶ体験プログラムを開催します。

【日時】 令和4年7月31日(日)① 9:30~12:00  
② 13:30~16:00

※①または②のいずれかの時間を選択してお申し込みください。

【場所】 福祉センター さやま荘

【対象】 市内の小学3~6年生(定員各回15人、申込多数の場合抽選)

【参加費】 100円(資料・おやつ代)

【締切】 7月15日(金) 必着



申込フォーム



## 手話奉仕員レベルアップ講座 受講生募集

手話技術を磨こう

手話奉仕員養成講座を修了された方を対象に、さらなる知識、技術の向上を図り、大阪府が実施する手話通訳者養成講座受講へのステップとするために、手話奉仕員レベルアップ講座を実施します。

【日時】 令和4年8月24日~10月26日(全10回)  
毎週水曜日 午後7時~9時

【場所】 市立公民館 集会室1

【講師】 公益社団法人 大阪聴力障害者協会

【対象】 市内に居住・通勤・通学する手話奉仕員養成講座を修了した方(※手話通訳士、大阪府手話通訳登録者、大阪府手話通訳養成講座修了生は除く。)

【定員】 20人(申込多数の場合、抽選。本講座未受講者を優先)

【参加費】 無料

【締切】 8月12日(金) 必着



申込フォーム

※お申し込みはボランティアセンター・又は上記QRコードからお願いします。

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、直前であっても中止になることがございますので、予めご了承ください。

## 南京玉すだれ「お多福会」会員募集中!



### 【活動日】

毎月第1金曜日 午後1時～  
福祉センターさつき荘

南京玉すだれは日本文化独自の大道芸のひとつで、富山県五箇山に伝わる民謡「こきりこ」が原点です。

私たちは、日本の伝統芸能・南京玉すだれをボランティアとして福祉施設や地域のサロン等で披露して、みなさんに楽しんでいただく活動を行っています。

月1回の定例練習日に集まって楽しく練習をしています。体を動かしたり、みなさんと一緒に練習することは楽しいですよ。初心者の方も大歓迎です!「南京玉すだれ」を体験し、一緒に活動してみませんか。

見学希望の方は  
ボランティアセンター  
までお問い合わせください。



## たくさんの善意をありがとう! 「フルトップ部会」



「フルトップ」とは  
飲料缶の飲み口についているコレです!



大阪狭山市ボランティアグループ連絡会のフルトップ部会では、市民の皆さまよりお寄せいただいたフルトップを車いすに交換し、寄贈する活動を行っています。今回、30・31台目の車いすを2月8日(火)に「南海狭山コーポ自治管理組合」と「狭山レークハイツ自治管理組合」へ寄贈しました。

車いすは各自治管理組合様の集会所や住民への貸出等に活用していただく予定です。

フルトップを集めてくださった皆様の善意を、車いすに換えて地域にお返しさせていただきました。ご協力いただきありがとうございます。

車いす1台と交換するのに約700kgのフルトップが必要となるため、随時フルトップを収集しています。引き続き皆さまのご協力をお願いいたします。

※集めたフルトップは市内公共施設へ設置している回収箱に入れていただくか、大阪狭山市社会福祉協議会の事務所へお持ちください。

### フルトップ部会の活動の様子を紹介した動画を公開しました!

QRコードを読み込むと  
Youtubeが開きます





## ボランティア交流会を開催しました♪

3月25日（金）、さやま荘多目的室にてボランティア交流会を開催しました。この交流会は、大阪狭山市でボランティア活動する人や感心のある人が集まって、気軽におしゃべりや情報交換をし、横のつながりを拡げることを目的に開催しました。

はじめに、ボランティアのミニ講義を行ったあと、全体で自己紹介をしたり、アイスブレイクとしてクイズゲームを楽しみました。

交流の時間では「令和4年にチャレンジしたいこと」をトークテーマに、活動や想いについて語り合いました。昨年度も新型コロナウイルスの影響で、思うように活動ができなかった方もいたようですが、「ボランティアの意義が再確認できた」「積極的な意見が多く聞けてパワーをもらえた」等の感想があり、新たな気持ちで活動を続けていきたいという熱い想いを感じることができました。



## 災害ボランティアネット主催

### 災害ボランティア入門講座、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を実施しました

#### 2月27日（日）災害ボランティア入門講座「災害ボランティアを知ろう!」

講師として大阪ボランティア協会の紺屋 仁志氏にご講演いただき「災害ボランティア」の役割や活動内容、心構え、普段からの防災活動など様々な視点から学ぶことが出来ました。



本講座はオンラインと会場視聴型で実施し、24名の受講がありました。受講者からは「自分に出来る防災活動を取り組んでいきたい。日常生活でご近所と声をかけ合っていくことの大切さを知った」「災害ボランティアは力仕事が多い印象を受けたが、現場では力仕事以外のニーズもあるということを知った」等の感想がありました。

#### 3月20日（日）「災害ボランティアセンター設置・運営訓練」

災害発生時にボランティアによる助け合いをサポートする「災害ボランティアセンター」の模擬訓練を、日野ボランティア・ネットワークの山下 弘彦氏にアドバイザーとしてお越しいただき実施しました。

参加者がボランティアセンタースタッフ役や被災者役、ボランティア役を担い、ロールプレイの演習を通して、センターが円滑に機能するかの点検だけでなく、被災者やボランティアにどのように向き合うかを一緒に考えました。



昨年に引き続き、コロナ禍での訓練となりましたが、感染症対策をとりながら実施し、講師の山下さんからは助言をいただき、参加者のみなさんからも様々な意見や改善点を出していただき、学びと経験を積み重ねることが出来ました。

※災害ボランティアの事前登録制度もありますので、右の QR コードからフォームにアクセスしてご登録をお願いいたします。



ほのぼのメモ

「つもるはなし」

- 高いつもりで低いのが教養
- 低いつもりで高いのが気位
- 深いつもりで浅いのが知識
- 浅いつもりで深いのが欲望
- 厚いつもりで薄いのが人情
- 薄いつもりで厚いのが面の皮
- 強いつもりで弱いのが根性
- 弱いつもりで強いのが自我
- 多いつもりで少ないのが分別
- 少ないいつもりで多いのが無駄

ある友人宅で見つけた言葉ですが、人生長いことしているとき、ある、ある、と頷ける言葉に感動を覚えました。

コロナ禍で自粛生活をしている中、ふと自分の人生を振り返ってみる時に、この言葉に当てはめてみてはいかがでしょうか？

〈堀本〉

ボランティア知識

「ヘルプマーク」をご存じですか？

みなさんは赤色に白い十字とハートがついたマークを見かけたことがありますか。

これはヘルプマークといって、「援助や配慮を必要とされている方」のためのマークです。

外見からはわからなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、作成されたマークです。

例えば…義足や人工関節を使用している方、内部障がいや難病の方、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としている方が携帯していることがあります。

思いやりの気持ちがあっても「声をかけてもいいのかな？」とってしまうこともあります。このマークを携帯している人を見かけたら電車内で席を譲る、もし困っている様子であれば声をかける等の思いやりの気持ちを行動にうつしてみてください。



編集後記

街角には花々が咲き乱れ、木々の緑がまぶしく、爽やかな初夏の賑わいを感じるこの頃です。コロナ禍も今でも続いていますが、一人一人が常識として、マスク等々、気を付けていくしかないと思います。テレビをつけると、毎日ウクライナのニュースですが、日本は平和で感謝です。この平和も当たり前ではなく、日々の努力や協調があってこそなんだと感じます。今後も、日本にも様々な影響があると思えますが、ウクライナの問題も身近な問題として、出来ることを考えて参りましょう。

〈楠田〉

ボランティア活動保険

～安心して活動に取り組むために～

● ボランティア活動保険  
ボランティア活動中の方が一事故に備えていただく保険です。活動中の事故による傷害補償や、賠償責任補償があり、加入していると安心して活動に取り組むことができます。

《年間保険料》	Aプラン	Bプラン	Cプラン (天災補償あり)
	300円	500円	600円

《例えばこのような事故に備えて…》  
○介護ボランティア中に障がい者の車椅子の操作を誤り、転倒させて怪我を負わせてしまった…  
○清掃ボランティア中、落ちていた空き缶で手を切り、怪我をした等  
ボランティア保険加入の手続きはボランティアセンターまで